



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社イワキ 上場取引所 東
コード番号 6237 URL <https://www.iwakupumps.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）藤中 茂
問合せ先責任者 （役職名）総務本部長 （氏名）吾妻 知寛 TEL 03-3254-2931
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	22,693	0.7	2,726	△1.6	3,231	4.1	2,299	5.8
2025年3月期中間期	22,540	0.5	2,771	△1.2	3,102	△5.1	2,173	△0.7

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,477百万円（△61.7％） 2025年3月期中間期 3,855百万円（17.8％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	103.82	—
2025年3月期中間期	98.37	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	53,402	38,226	71.4
2025年3月期	54,150	38,109	70.0

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 38,108百万円 2025年3月期 37,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	25.00	—	45.00	70.00
2026年3月期	—	35.00			
2026年3月期（予想）			—	41.00	76.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	48,439	5.8	6,159	5.4	6,601	1.3	4,788	7.2	215.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

除外 1社 (社名) IWP Holding Company Limited

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	22,490,910株	2025年3月期	22,490,910株
2026年3月期中間期	307,298株	2025年3月期	375,753株
2026年3月期中間期	22,147,583株	2025年3月期中間期	22,091,797株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2025年11月26日(水)に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用の決算説明資料は、事前に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における日本経済は、一部に米国の通商政策による影響がみられるものの、景気は緩やかに回復しております。しかし、米国の通商政策の動向には引き続き注視が必要であり、加えて、物価上昇の継続による影響なども景気を下押しするリスクとなっており、企業収益の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループでは、経営理念の実現に向けた10年後のありたい姿として「これからの暮らしの流れを支える Aid daily life globally, evolving for future needs.」を掲げ、その姿に向けた基本方針を「事業活動を通じて世界中の IWAKI ファンを増やし、持続可能な世の中づくりに貢献する。」とする「イワキグループビジョン NEXT10」を長期ビジョンとしております。これに基づき、2026年3月期から2028年3月期までの3ヶ年を対象期間とする「中期経営計画2027」では、着実な成長と、将来の飛躍に向けた基盤固めを実行していくことで、企業価値の向上を図ってまいります。

その初年度にあたる当期においては、国内・海外ともにソリューション提案を軸とした営業方針を展開し、販売拡大を推進してまいりました。

その結果、市場別では水処理市場が全体を牽引し、売上高は5,749百万円（前年同期比8.4%増）となりました。半導体・液晶市場は回復に向かう動きがみられるものの、売上高は3,502百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

製品別では、主力製品である定量ポンプは、水処理市場の順調な需要を背景に、売上高は4,041百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

地域別では、国内は、半導体・液晶市場が低調に推移し、売上高は10,509百万円（前年同期比1.2%減）となりました。海外について、米国は、主要市場である水処理市場が好調に推移し、売上高は3,953百万円（前年同期比12.0%増）となりました。欧州は、全体的に低調に推移し、売上高は2,860百万円（前年同期比9.5%減）となりました。アジア地域は、台湾、韓国向けの半導体・液晶市場が好調に推移し、売上高は1,409百万円（前年同期比7.2%増）となりました。中国は、半導体・液晶市場、医療機器市場の持ち直しの動きがみられるものの完全な回復とまでには至っておらず、売上高は2,784百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

このような状況の中、当社グループの当中間連結会計期間の連結売上高は22,693百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

在庫調整に伴う生産調整の影響により、売上原価率が上昇し、営業利益は2,726百万円（前年同期比1.6%減）となりました。持分法による投資利益の増加、為替差益の発生などにより、経常利益は3,231百万円（前年同期比4.1%増）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は2,299百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

なお、当社グループはケミカルポンプ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は35,903百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,501百万円減少いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が378百万円、商品及び製品が1,002百万円減少したことによるものであります。固定資産は17,498百万円となり、前連結会計年度末に比べ752百万円増加いたしました。これは主に新工場建設に伴う有形固定資産が779百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は53,402百万円となり、前連結会計年度末に比べ748百万円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は10,118百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,987百万円減少いたしました。これは主に電子記録債務が451百万円、未払法人税等が249百万円、新工場建設費用の支払いなどにより、その他の流動負債が1,150百万円減少したことによるものであります。固定負債は5,057百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,122百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が1,376百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は15,175百万円となり、前連結会計年度末に比べ864百万円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は38,226百万円となり、前連結会計年度末に比べ116百万円増加いたしました。これは主に資本剰余金が295百万円、為替換算調整勘定が804百万円、非支配株主持分が106百万円減少した一方、利益剰余金が1,309百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.4%（前連結会計年度末は70.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年5月14日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,801,530	9,029,461
受取手形、売掛金及び契約資産	8,058,338	7,680,329
電子記録債権	4,939,418	4,740,340
有価証券	80,933	—
商品及び製品	7,329,562	6,326,898
仕掛品	2,768,505	2,738,796
原材料及び貯蔵品	4,376,093	4,316,631
その他	1,107,158	1,128,568
貸倒引当金	△56,213	△57,220
流動資産合計	37,405,328	35,903,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,433,707	8,546,021
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,691,101	△4,837,343
建物及び構築物(純額)	3,742,606	3,708,677
機械装置及び運搬具	4,121,846	4,233,467
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,514,321	△3,606,807
機械装置及び運搬具(純額)	607,525	626,660
工具、器具及び備品	2,639,813	2,697,062
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,156,010	△2,227,205
工具、器具及び備品(純額)	483,803	469,856
土地	1,060,990	1,063,395
リース資産	480,645	476,637
減価償却累計額	△203,215	△230,347
リース資産(純額)	277,430	246,289
建設仮勘定	899,248	1,924,532
その他	1,836,513	1,705,459
減価償却累計額	△244,737	△302,020
その他(純額)	1,591,776	1,403,439
有形固定資産合計	8,663,380	9,442,851
無形固定資産		
のれん	2,147,567	1,878,912
その他	719,384	696,267
無形固定資産合計	2,866,952	2,575,179
投資その他の資産		
投資有価証券	2,161,607	2,307,276
繰延税金資産	555,582	608,369
退職給付に係る資産	1,803,602	1,806,491
その他	694,365	758,083
投資その他の資産合計	5,215,156	5,480,220
固定資産合計	16,745,489	17,498,252
資産合計	54,150,817	53,402,059

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,765,957	1,769,378
電子記録債務	2,963,987	2,512,762
短期借入金	1,087,960	1,079,547
1年内返済予定の長期借入金	155,000	321,200
リース債務	151,513	146,739
未払法人税等	1,015,132	765,423
契約負債	388,255	445,706
賞与引当金	1,318,346	1,003,929
役員賞与引当金	242,559	209,587
製品保証引当金	83,680	81,646
その他	2,933,348	1,782,422
流動負債合計	12,105,740	10,118,343
固定負債		
長期借入金	857,500	2,234,130
リース債務	505,038	447,266
繰延税金負債	1,726	—
退職給付に係る負債	94,263	91,008
資産除去債務	224,732	225,293
その他	2,251,844	2,059,937
固定負債合計	3,935,104	5,057,636
負債合計	16,040,845	15,175,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044,691	1,044,691
資本剰余金	786,971	491,846
利益剰余金	31,790,257	33,100,214
自己株式	△376,249	△307,630
株主資本合計	33,245,670	34,329,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,792	9,578
為替換算調整勘定	3,377,515	2,572,889
退職給付に係る調整累計額	1,255,827	1,197,029
その他の包括利益累計額合計	4,640,136	3,779,497
非支配株主持分	224,165	117,461
純資産合計	38,109,972	38,226,079
負債純資産合計	54,150,817	53,402,059

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	22,540,031	22,693,901
売上原価	13,312,808	13,582,557
売上総利益	9,227,223	9,111,343
販売費及び一般管理費	6,455,612	6,385,236
営業利益	2,771,611	2,726,106
営業外収益		
受取利息	49,672	41,996
受取配当金	29,382	33,112
持分法による投資利益	288,181	356,615
為替差益	—	50,160
その他	36,486	68,836
営業外収益合計	403,723	550,722
営業外費用		
支払利息	43,539	39,757
支払手数料	1,584	1,504
為替差損	15,083	—
繰延報酬制度に係る費用	9,772	—
その他	2,757	4,238
営業外費用合計	72,737	45,499
経常利益	3,102,597	3,231,328
特別利益		
投資有価証券売却益	1,168	365
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	21,509	12,766
特別利益合計	22,677	13,131
特別損失		
固定資産除却損	3,268	36
固定資産売却損	—	84
特別損失合計	3,268	120
税金等調整前中間純利益	3,122,006	3,244,339
法人税等	878,691	897,139
中間純利益	2,243,314	2,347,199
非支配株主に帰属する中間純利益	70,192	47,903
親会社株主に帰属する中間純利益	2,173,122	2,299,296

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	2,243,314	2,347,199
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△272	3,001
為替換算調整勘定	1,606,638	△808,962
退職給付に係る調整額	△59,577	△58,798
持分法適用会社に対する持分相当額	65,579	△4,511
その他の包括利益合計	1,612,367	△869,270
中間包括利益	3,855,682	1,477,929
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,768,058	1,438,657
非支配株主に係る中間包括利益	87,623	39,271

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。